



そでがうら

WEBSITE URL
http://www.city.sodegaura.chiba.jp/

議会だより

平成24年 第151号

8/1

発行/袖ヶ浦市議会 編集/議会広報特別委員会 〒299-0292 千葉県袖ヶ浦市坂戸市場1-1 ☎0438 (62) 3450 (直通)



**がんばれ!!
未来のオリンピック選手**
木更津・袖ヶ浦支部
小学校陸上記録会 5月31日

平成24年 第4回(8月招集) 定例会会期(案)

【会期】平成24年8月28日(火)から9月18日(火)までの22日間

日	曜日	区分	傍聴
8/28	火	本会議	○
29	水		
30	木		
31	金	本会議 (一般質問)	○
9/1	土	休日	
2	日	休日	
3	月	本会議 (一般質問)	○
4	火	本会議 (一般質問)	○
5	水	本会議 (一般質問予備日)	○
6	木	総務企画常任委員会	○
7	金	文教福祉常任委員会	○
8	土	休日	
9	日	休日	
10	月	建設経済常任委員会	○
11	火	決算審査特別委員会	○
12	水	決算審査特別委員会	○
13	木	決算審査特別委員会 (予備日)	○
14	金		
15	土	休日	
16	日	休日	
17	月	休日	
18	火	本会議	○

*一般質問通告一覧表は8月24日頃、ホームページに掲載する予定です。
*各種会議の詳細については、市役所 議会事務局までお問い合わせください。

6月定例会

6月6日～6月26日
(会期21日間)

初日の6月6日には、市長から条例の制定など議案7件、諮問3件、報告6件が提出され、提案理由の説明などがありました。また、陳情3件について委員会付託を行いました。

6月12日には、議案5件の委員会付託を行いました。また、6月12日、13日、14日には15人が市政について一般質問を行いました。6月20日、21日、22日には各常任委員会が開催され、付託されました議案5件、陳情3件の審査及び所管事務調査を行いました。

最終日の6月26日には、付託された議案等について各常任委員長から審査の経過と結果が報告され、議案5件について原案のとおり可決、陳情については3件が採択されました。また、付託省略の議案2件、諮問3件については、原案のとおり可決、同意されました。また、平成21年9月24日に設置された(仮称)そでがうらメモリアルパーク検討特別委員会は委員長報告を行い、所期の目的を達成したことから解散しました。(委員長報告書抜粋は7ページに掲載してあります。)その後、議員発議の提出が4件あり、3件が原案のとおり可決、1件が否決されました。
(議決結果は8ページに掲載してあります。)

永年在職議員表彰

永年にわたり、議員として市政の振興と地方自治の進展に尽くされた功績により、全国市議会議長会から次の議員が表彰されました。
6月26日本会議場において、表彰状の伝達が行われました。

正副議長4年以上表彰 岡田 實

議員15年以上表彰 篠崎 典之 岡田 實

常任委員会

各委員会では、付託された議案、陳情の審査及び所管事務調査を行いました。

総務企画常任委員会

6月20日開催

【所管事務調査】防災・安全対策の推進について(富士石油袖ヶ浦製油所視察)

総務企画常任委員 8名

- 委員長 田邊恒生
- 副委員長 片倉憲太郎
- 委員 前田美智江/茂木芳和/榎本雅司/阿津文男
篠崎典之/石井俊夫



文教福祉常任委員会

6月21日開催 付託案件(5件)

【議案】

▶議案第3号 袖ヶ浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

- ・採決の結果 原案可決(賛成多数)
- ・主な質疑
 - ①国民健康保険税の応能応益割合及び課税限度額の見直しの検討
 - ②国民健康保険税の1世帯及び1人あたりの平均値上げ額
 - ③平成23年度末の滞納世帯数及び収納率
 - ④平成23年度の資格証明書及び短期被保険者証の世帯数
 - ⑤国民健康保険税の軽減適用世帯への値上げに対する考え方
 - ⑥一般会計からの法定外繰入金増額の検討
 - ⑦国民健康保険財政調整基金の今後の積み立て
 - ⑧法定外繰入金の来年度以降の基準額
 - ⑨ジェネリック医薬品の使用に係る医師会への働きかけ
 - ⑩レセプト点検に係る現状の経費と委託した場合の経費との比較
 - ⑪レセプト点検による効果の実績
 - ⑫国民健康保険税の値上げにより市民生活に与える影響
 - ⑬国民健康保険税に係る長期的な検討

・討論 賛成

① 保険税率の改定については、医療費の増加に伴い、被保険者の負担も増やさざるを得ない一方、今年度も一般会計からの法定外繰り入れを増額し、被保険者の負担増に対して低減対策を講じており、国民健康保険税の低所得層への軽減措置についても引き続き配慮していることから、今回の保険税率の見直しはやむを得ないものであると賛成します。

② 国民健康保険特別会計の財政運営は非常に厳しいものになっており、今年度も医療費の増加が予想されることから、一般会計からの繰入金金は昨年度より増額する措置が講じられており、被保険者にも応分の負担をお願いすることはやむを得ないと考えられること、改定後の保険税率の近隣市との比較においても、本市の保険税は他市と同等、又は下回っている状況であると思われること、更に、引き上げが単年度の収支の均衡を図る必要最小限のものであることから、今回の改正はやむを得ないものと判断するので賛成します。

反対

- ① 今回の値上げは、所得200万円の4人世帯で、1ヶ月の給料より多い金額が年間の国民健康保険税の支払いに消え、その他に市県民税、公共料金の支払いもあるなど、払える金額とは思えません。一般会計の法定外の繰り入れを増額し、値上げを中止すべきと考えるため反対します。
- ② 今後、保険料を上げざるを得ない状況をつくらないようにするためには、全庁的な取り組みが必要であり、そのためには、今回は一般会計からの繰り入れを増額し、全市的に支出の抑制等を考えていく必要があるため反対します。

▶議案第4号 袖ヶ浦市印鑑条例等の一部を改正する条例の制定について

- ・採決の結果 原案可決(賛成多数)
- ・主な質疑
 - ①市内の外国人の人数及び住民基本台帳法の改正等に関する周知方法
 - ②外国人登録法から住民基本台帳法に移行する外国人への周



・討論

- 知及び移行しない外国人の内容
- ③印鑑条例の改正とそれ以外の条例改正の関係
- ④外国人登録法の廃止等により医療、社会保障サービスの対象から外れるおそれのある人への対応
- ⑤住民基本台帳法の改正等に伴う行政サービスの対象範囲に関する総務省通知

賛成

今回の条例改正は、外国人登録法の廃止等の法律改正に基づくものであり、外国人登録法を引用している関係条項の削除及び文言の整備を目的としており、いずれも適正な改正内容であるので賛成します。

反対

外国人登録証により、市で把握することができていた、短期滞在者及び家庭の事情等により在留資格が取り消された人などが、住民基本台帳に記載されないことで把握できなくなるおそれがあり、医療や社会保障の住民サービスが受けられなくなる心配があるので反対します。

▶議案第5号 袖ヶ浦市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について

- ・採決の結果 原案可決(全員賛成)
- ・主な質疑 なし
- ・討論 なし

▶陳情第28号 「国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書

- ・採決の結果 採択(全員賛成)
- ・主な質疑 ①準要保護援助費の見直し
- ・討論 なし

▶陳情第29号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書

- ・採決の結果 採択(全員賛成)
- ・主な質疑 ①学校事務職員及び学校栄養職員の配置の必要性
- ・討論 なし

【所管事務調査】障害者支援課所管の休廃止事務事業について

文教福祉常任委員 8名

- 委員長 神崎 寛
- 副委員長 佐藤麗子
- 委員 田中輝博/佐久間清/脇波久子/小野光正
岡田 實/渡辺 盛

建設経済常任委員会

6月22日開催 付託案件(3件)

【議案】

- ▶ **議案第1号** 袖ヶ浦市公共下水道事業区域外流入受益者分担金に関する条例の制定について
 - ・採決の結果 原案可決(全員賛成)
 - ・主な質疑
 - ①分担金の積算方法
 - ②本管接続の工事費用の負担者
 - ③区域外流入後の排水施設の管理者
 - ・討論 なし
- ▶ **議案第2号** 袖ヶ浦市公共下水道事業特別会計市債管理基金条例を廃止する条例の制定について
 - ・採決の結果 原案可決(全員賛成)
 - ・主な質疑 なし
 - ・討論 なし
- ▶ **陳情第30号** 高谷地先における無許可埋め立て事業の今後の対応について(陳情)
 - ・採決の結果 採択(全員賛成)
 - ・主な質疑
 - ①事業者の経営状況
 - ②土砂に含まれる成分、発生元、搬入ルート確定等現在の状況
 - ③市の対応
 - ④行政としての責任
 - ⑤千葉県等関係機関との原状回復への調整内容
 - ⑥農業委員会における見解
 - ⑦市長からの指示事項



- ⑧責任の所在
- ⑨土地所有者の対応
- ⑩刑事的違法性
- ・討論 なし
- 【所管事務調査】袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業の進捗状況及び周辺整備事業について

建設経済常任委員 8名

委員長 立原 勇

副委員長 篠崎龍夫

委員 長谷川重義／吉岡淳一／塚本幸子／福原孝彦

遠山 修／露崎信夫

行政視察の報告

各常任委員会及び議会運営委員会等は、それぞれの所管事項の調査・研究のため、行政視察を実施しました。

視察内容は次のとおりです。(①視察日 ②視察先及び視察内容)

総務企画常任委員会

- ①平成24年4月26日～27日
- ②新潟県長岡市
 - 防災への取り組みについて
 - 防災センターについて
- 新潟県三条市
 - 地域防災計画について
 - 豪雨対策について

議会運営委員会、議会広報特別委員会

- ①平成24年5月15日～16日
- ②兵庫県南あわじ市
 - 議会改革について
- 兵庫県淡路市
 - 議会だよりの編成について

文教福祉常任委員会

- ①平成24年5月10日～11日
- ②大阪府門真市
 - 土曜自学自習室サタスタ事業について
 - 学校支援ボランティアについて
- 兵庫県宝塚市
 - 子どもたちが主役のまち「ミニたからづか」について
 - 子ども条例、子ども議会について

環境保安対策特別委員会

- ①平成24年5月22日～23日
- ②岩手県紫波郡紫波町
 - 循環型まちづくりについて
- 岩手県岩手郡葛巻町
 - 省エネルギービジョンについて

建設経済常任委員会

- ①平成24年4月19日～20日
- ②長崎県大村市
 - 「おおむら夢ファーム シュシュ」6次産業への取り組みについて
- 福岡県久留米市
 - メタンガスの有効利用について



長岡市民防災公園を見学中

総務企画常任委員会行政視察報告書より抜粋

ながおか市民防災センターは、長岡市が実施したシビックコア計画の一部として建設されております。用地は旧国鉄の操作場跡地を利用しており、約11.5haの用地を3つの街区に分け防災に関する建物を集約し、突然に襲う災害に円滑に対応しようとするものでした。

平成14年度に地区計画策定協議会を設置し、協議しているうち、平成16年度に新潟中越地震が発生、その時は仮設住宅の設置場所として、被災者の支援に利用されました。

震災被害が一段落した後、平成17年度に整備計画を策定、平成18年度から整備事業に着手、平成19年度に罹災者公営住宅が完成、平成20年度に長岡合同庁舎別館、新潟日報長岡支社社屋が完成、平成21年度に消防

本部、ながおか市民防災センター及び防災公園が完成しました。

なかでも、防災公園は1haの多目的広場に約8,300名の収容ができ、475張りの避難テントスペースと飲料水兼用として100㎡の大型防火水槽、災害用トイレ、緊急用ヘリポートを装備しています。

ながおか市民防災センターは普段は子育てと市民防災の拠点として、緊急時は物資の一時集積やボランティアの活動支援拠点としての機能を果たすべく設計されており、屋根付き広場はクッション材を床に敷き詰め、全天候に対応しているとのことでした。



市政を大きく

一般質問

Q & A

6月定例会 一般質問者

(質問者15人)

質問順	議員名	質問日
1	篠崎龍夫	6月12日
2	神崎寛	
3	塚本幸子	
4	篠崎典之	
5	片倉憲太郎	6月13日
6	榎本雅司	
7	長谷川重義	
8	吉岡淳一	
9	前田美智江	6月14日
10	田邊恒生	
11	田中輝博	
12	佐久間清	
13	励波久子	
14	佐藤麗子	
15	石井俊夫	

篠崎龍夫議員

袖ヶ浦駅に物産展・喫茶店、観光協会の有人コーナーを

Q 木東津アウトレットへ多くの人達が市内外から来ているが、袖ヶ浦駅周辺には、喫茶店もなく困っている。冬になったらなおさら心配される。対応を考えないか。

A 袖ヶ浦駅海側開発に伴い駅の改修計画があるが、喫茶店や物産売店や有人観光協会コーナーも現時点の計画には入っていない。今後駅周辺での対応を考えないか。

A 連休に3日間テスト的に商工会と物産販売を行いました。期待程の売り上げが得られま

Q アクアラインマラソンも間近になってきた。日本各地からランナーが来るがその大半はその土地を知りたくて来るそう。主に大人たちが対象になるが、袖ヶ浦を

Q せんでした。今後も空き店舗を利用した喫茶店や物産販売を商工会、観光協会と検討してみます。駅海側開発に向けても、駅構内での設置はJRの見解では難しく、商工会等に働きかけをします。

A お迎え役は、ガウラ君にお願いします。おとちばな姫の募集など難しい面もあり、ランナーなどに配布するガイドブックへ、袖ヶ浦の名の由来となったおとちばな姫など、袖ヶ浦市の紹介などを行います。



神崎寛議員

命を守る防災教育の充実について

Q 防災教育の充実を求めた署名を行い、1万450名の署名をいいただき、市長に提出しました。防災教育の充実に向けて、今後どのように取り組むのか伺う。

A 災害から得た教訓を風化させない継続的な防災教育、自ら判断し行動できる力を備える防災教育、自分の身は自分で守るという意識の醸成が図れるような防災教育に取り組めます。



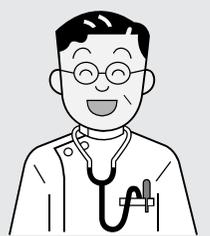
Q 危険予知能力の育成について伺う。

A 危険予知能力は重要な事項と認識しています。危険な場所を自分の目で確認し、常に意識するよう実践力を育てたいと考えています。

慢性腎臓病(CKD)について

Q 慢性腎臓病から重症化にならないよう保健指導を行わなければならないと思う。現状を伺う。

A 保健指導の該当者626名中30名に指導をすることができました。残



Q 危険予知能力の育成について伺う。

A 危険な場所を自分の目で確認し、常に意識するよう実践力を育てたいと考えています。

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の公費助成について

Q 高齢者向け肺炎球菌ワクチン接種の公費助成をしないか伺う。

A 来年度から公費助成に向けて前向きに検討します。

塚本幸子議員

空き家条例の制定を

Q 空き家の実態を調査、把握しているのか。

A 今後、火災予防上のデータをもとに水道道の休止情報などを活用し、実態調査に取り組んでいきます。

Q 生活環境の保全及び防犯のまちづくりの推進の観点から、空き家等の適正管理に関する条例を制定しないか。

A 本年、先進市を調査し、市の実態調査を踏まえ、条例制定に向けた作業を進めていきます。できる限り、早い施行を目指し、対応していきます。



戸籍や住民票の不正取得防止について

Q 住民票などの不正取得が成りすましや犯罪に使われることもある。第三者が住民票などを取得した場合に本人に知らせる制度を導入しないか。

A 不正取得防止の観点から課題を整理し、

Q 土地区画整理事業、幹線道路、雨水幹線の進捗状況と今後の見通しについて

A 本年度末で進捗率は26%を見込んでいます。高須箕和田線は、県道から今井坂戸線まで事業に着手しており、29年度完成予定です。雨水幹線は、雨水ポンプ場から着手していきます。駅を中心とした地区にふさわしいまちづくりを早期に完成したいと考えています。

篠崎典之議員

コンビナート災害対策は

Q 本市の地震、津波、液状化現象等コンビナート災害対策は、どう考えているか。

A 万全を期して県、市、事業所、関係機関が連携し、市街地に被害が及ぶ恐れがあるときは、総合判断し、避難勧告等を発令します。

Q 市内の液状化マップ作成や液状化対策についてどう検討しているか。

A 土地所有者が液状化対策をできるような液状化マップ作成、情報提供等検討していきます。

Q 袖ヶ浦駅海側開発地域の地震、津波、液状化の安全確保は、

A 危険性が高い地区と認識しておらず、今後も安全なまちづくりを目指します。

自然エネルギー施策に重点を

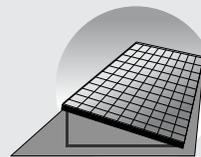
Q 太陽光発電など自然エネルギー施策を中心に位置付けないか。

A 発生元が確認できない残土埋め立ては認めない規制をしないか。有効な監視方法の検討が必要と考えます。

Q 再生可能エネルギーへの転換は重要と認識しています。公共施設への太陽光発電設置は、増改築時に合わせて検討します。

A 市が南側に購入した5千坪の土地に、メガソーラー設置を検討しないか。

A 土地の活用方法を検討中であり、現段階で答弁できません。



残土埋立規制は効果的に

Q 発生元が確認できない残土埋め立ては認めない規制をしないか。有効な監視方法の検討が必要と考えます。

片倉憲太郎議員

出生率の向上に向けた少子化問題の取り組みについて

Q 少子化傾向の改善を子育て環境日本一のアプローチにどのように取り組んでいくか伺う。

A 少子高齢化社会が到来し、人口減少や人口構造の変化により労働人口の減少、社会保障負担の増加や地域社会の活力低下などの影響が起きているところ。今後、その方策を検討していきます。

Q 保育所の定員規模や受け入れ枠を広げるには、現状の制度では厳しい。措置権者である行政側は今後どのように対応を図るか伺う。

A 増え続ける保育需要を満たすため、新たに保育施設を確保することも考慮に入れています。

Q 障害児保育の受け入れ枠と、必要な職員確保への取り組み方針について伺う。

A 障害児保育は、養育手帳を所持、ま



たは所持相当と児童相談所が認めた障害児の保育で、開始した月からの補助となり、入園の時期により補助額が変動することから、通年で障害児保育のための保育士を確保する場合、全額が補助対象になっていません。

榎本雅司議員

安全・安心な街づくりを目指して

Q 市内全小中学校で行った通学路の緊急安全点検と危険箇所報告結果について

A 危険箇所は43件。その内容は、幅員が狭く交通量が多いのに歩道がない、ガードレールの設置が必要、横断歩道がない、橋梁が狭く歩道もなく危険である等である。



Q 滝の口地先、檜水橋から県道君津平川線区間の歩道整備を。

A 境界査定を実施し、用地の境界を明確にした中で、歩道整備に向け検討していきます。

Q 代宿横田線、飯富29号線交差点(根形勝区)に信号機の設置を。

A 県の予算の都合がありますが要望等を含めて行っています。

Q 福祉行政の推進について(仮称)地域保健福祉支援センターについて

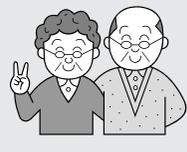
A 長浦地区に保健福祉全般に対する相談拠点として平成25年4月の開設に向けて進めています。

Q 平川地区に同様のセンターを整備する考えはあるのか。

A 次期実施計画の中で検討していきます。

Q 旧JA中川支店を利用し地域福祉活動の場にならないか。

A 高齢者が利用するには、階段が狭く、2階のバリアフリー等構造上の問題が解決すれば社会福祉協議会と検討をします。



長谷川重義議員

袖ヶ浦市総合計画について

Q 袖ヶ浦駅北側農地をメガソーラー施設建設用地としないか。

A 現段階では新たな土地利用計画は考えていません。

Q 平成通り沿いは地区計画を定め拠点を決め、市街化編入しないか。

A 既存商業地域の空洞化の対策が求められていることや、市街化調整区域の位置付け等を考慮すると現段階では難しいと思います。

Q 市民の働く場の確保や税収対策とし、商業施設等の誘導策を考えないか。



Q 既成市街地のまちな熟成度等を見極めながら進めるべきと考えます。

Q 小規模宅地開発での改正指導要綱の強制力とスプロール化は防げるのか。

A 強制力はありませんが、整備基準に基づき開発を進めるよう指導し、スプロール化の防止に努めています。

安心・安全な市民生活への取り組みについて

Q 車から歩行者の安全へと考え方を転換し、車両の速度制限をすれば事故削減効果が大きいとされるが市の見解は。

A 速度制限は市単独ではできないので警察と協議を行う等事故防止について調査研究します。

Q 蔵波の百々目堰から奈良輪堰間の水路を残して保全しないか。

A 貴重な緑と認識するが、荒れた状態で保全は難しいと思われる。

Q 環境保全政策について

吉岡淳一議員

災害廃棄物受け入れについて

Q 政府・東北被災地は昨年3月11日に発生した大地震による災害廃棄物について、各自自治体に向け広域処理の協力を呼びかけている。協力に向けた考えはあるか。

A 災害廃棄物受け入れについては、放射能に対する安全性の確認や溶融飛灰の最終処分先の確保、また地域住民の理解と4市の同意などの受け入れ条件が整うことが前提であると考えており、これらの条件が解決された際には積極的に協力したいと考えます。

Q 長浦駅舎南北自由通路整備工事について

A 駅舎の改修は、本来的に鉄道事業者の負担、責任で施工されるべきものであるが、公共施設とするに至った経緯は。

Q 地元住民を含む多くの方々からエスカレーター等の設置による段差解消を望む声が寄せられました。市は交通バリアフリー基本構想を策定し、アンケート調査等を踏まえ、自由通路の整備をまちづくりの一環として市が公共施設で整備することとしました。

Q 都市計画審議会に諮ったのか。経緯は。

前田美智江議員

地震に強い施設への取り組みについて

Q 学校施設及び避難所等の耐震化計画の状況を伺う。

A 市内小中学校の校舎棟は今年度で完了。体育館は、耐震性や老朽性を考慮して27年度末100%を目指します。その他の避難所も27年度耐震化率100%が目標です。

Q 災害に備え、「非構造部材」といわれる天井・壁・ガラス等の耐震化対策が急務だと思いが、本市の見解を伺う。

A 施設改修や改築時に非構造部材の耐震化も更に実施していきます。また、市専門職により点検強化に取り組みします。

Q 各地で通学途中の児童を襲った事故を受けて、通学路の安全点検や安全確保の対応を伺う。

A 点検の結果、28件の対策が必要で、緊急

Q 交通安全教室・親子教室など学校教育の中で危機意識を持たせる指導に取り組みしています。

田邊恒生議員

金田地区の整備進展、椎の森工業団地の整備決定など本市を取巻く周辺状況変化への対応について

Q 金田東アクアシティ整備進展に伴い木更津市はアクアライン高速バスの発着を西口に誘導しようとしているが対応策について伺う。

A 最終的に市が管理する道路等の整備は市が行うことになっていきます。総事業費43億円のうち負担額は12億円です。

Q 椎の森工業団地2期・3期の市負担について伺う。

A 本年は上限7万円、100件の助成に拡大していますが、5月末時点で72件の申し込みがありました。県の補助金を活用しており増額を県に要望しています。

Q 再生可能エネルギー企業の誘致を伺う。



A 再生可能エネルギー企業の誘致を推進します。

田中輝博議員

危機管理体制について

Q 危機事象の元となる情報収集、区分け、情報提供の体制について伺う。

A 国・県・市民・部局から情報を受け、危機管理部門が情報を整理し、内容・情報源を整理し、情報提供を行います。所管が異なるコンビナート災害の平時の情報収集と管理を伺う。

Q 関係法令により、所管が決められており、市は事業所に対する適切な点検指導を行います。

Q 子育て環境日本一と次世代育成について

A 日本一への具体的項目の内容と他市との現状比較を伺う。

A 中三までの医療費助成延長と保育所待機児童ゼロです。君津4市では、全て同レベルです。

Q 自治基本条例の二次の対話集会と平行してパブリックコメントを行わないか伺う。

※1 スプロール化…都市が無秩序に拡大していく現象。

佐久間清議員

子育て環境の更なる充実について

Q ファミリーサポートセンター事業の利用料金に対する認識と利用券の配布について伺う。

A 県内実施市町村23市のうち21市が平日700円となっており、決して高い設定ではないと考えます。また、過去に実施した利用券の配布は、利



ファミリーサポートセンター

用会員、両会員に対し個別に郵送するとともに、会報に3回掲載し、入会時にも説明をしています。

市内橋梁の現状と改修計画について

Q 県道長浦上総線に架かる富川橋と歩道橋の架け替え工事について伺う。

A 富川橋の架け替えは、平成24年度から着手し、平成26年度完成を目指し計画をしています。また、工事内容は、現在は車道橋と歩道橋が独立して設置されていま

すが、両橋梁を撤去し、新たに車道と歩道を一体化した橋梁を整備します。

Q 小坪橋は中川小学校区の通学路ですが、路面は凸凹で、大変老朽化が進んでいます。市の認識と対策を伺う。

A 橋梁点検の結果、経年劣化により一部にさびの発生、また舗装の剥離などを確認しております。今年度の修繕計画に位置付け、修繕をします。舗装の凹凸についても、舗装の打ちかえをすることともに、幅員が狭いことから、幅1メートル程度を歩行帯として着色し、安全性の向上を図ります。

励波久子議員

産前産後の支援について

Q 産前産後の体調不良時に家族等の援助が得られない方にヘルパー派遣事業を実施しないか。

A ニーズ調査や先進地調査、サービスを提供できる事業所を確認し検討していきます。

公立保育所民営化は撤回を!!

Q 望ましい保育所あり方とその実現方策としての民間移管について提言が出されて1年半がたつ。民間移管を進めるべきという意見はなく、民営化は撤回しないか。



A 具体的な支援方法を検討しています。

Q 現段階では公立保育所を維持します。

A それを保護者や関係者に報告すべきでは。国の保育システムの結論が出たら報告したいと思っています。

Q 待機児童が一時保育や特定保育を利用する場合、通常の保育料と同様に所得によって減免措置を講じないか。

A 具体的な支援方法を検討しています。

事務事業総点検について

Q 準要保護援助金の見直しや福祉作業所休廃止は、経済的に大変な家庭や障がい者へ直接影響があり問題ではないか。

A 準要保護援助金について、担当部では現状維持が必要だと考えています。福祉作業所は今後保護者や関係者を中心に検討委員会を設置し、ご意見を聴きその結果で最終的な判断を出します。

Q 作業所を避難所としても活用しないか。

A 福祉避難所の要件を調べた中で考えます。

佐藤麗子議員

放課後、休日の子ども達の居場所づくりについて

Q 現在実施している放課後子ども教室を人口密集地である長浦地区においても実施していく考えはないか。

A 本事業の新規開催に向けた、新たな地での新たなボランティア人材を確保しながらやっていくかを考えていきます。

Q 計画にある子どもや住民の交流の場づくりの進捗状況を伺う。

A 設置場所について公共施設5カ所、民間施設3カ所を検討していますが、計画のような機能を持たせる施設がないか。

く、本年度開始する公の施設の見直しの中で建設に向け努力します。

Q 既存施設を使った整備が難しいのであれば、火葬場を単独で建設するのではなく、木更津市と共同で建設し、その分浮いた予算で交流の場を新設することや、PFI等予算をかけずに新たに建設する方法もあるかと思うが市長の計画にかける意気込みとともにも伺う。

A これまで計画通り出来てい



Q 給食センターの跡地や奈良輪小学校協会の活用も考えるべきではないか。

A 位置的には非常に良いですが、色々な観点から考え検討します。

石井俊夫議員

市の活性化対策と市長の政治姿勢について

Q 市の高齢化率は20%に達し、平成31年には30%超と予想される。緩和策として、若者の流入を図り流出を防ぐ街づくりが急務と思うが伺う。

A 若い人達の定住条件を整えていきます。新たな住宅地として袖ヶ浦駅海側と小規模宅造と限られるが、魅力ある街づくりの指導は



Q 海側は、都市計画に沿った有効な土地利用を推進し、ミニ開発は、周辺環境と十分調和するように開発事業者を指導していきます。

Q 社会保障費が年々増加し、扶助費で10年前より倍以上の約34億円となり、国保も単独では維持できない状況のため本来国で行うべき事業は国に託すべきと思うが。

A 全国市長会等で国に要望しています。平成19年度より24年度まで貯金の取り崩しと借金で約60億円、今

Q 新たな収入源は袖ヶ浦海側開発と景気の回復期待です。今後も歳出抑制策を推進します。火葬場問題で市長は未だ明確な方針がない。なぜ決断しないか。

A 様々な角度より検討します。



袖ヶ浦駅(海側)完成イメージ図

小学生が議場を見学

平成24年5月25日(金)に蔵波小学校3年生、7月4日(水)に奈良輪小学校3年生が、社会科の学習のため議場見学を行いました。

児童の皆さんからは様々な議会に対する質問を受けました。

議会は、市のお金の使い道(予算)や皆さん(市民)が守らなければならない決まりごと(条例)などを話し合い、決める(議決)機関であること。市議会議員と市長は、対等な立場で協力し合い、お互いに意見を出し合いながら、住みやすいまちをつくるためにいろいろな仕事をしていること。

少しでも市政に触れていた時間が貴重な機会、また思い出となってくれると良いと思います。



蔵波小学校3年生

議員会研修会

平成24年6月6日(水)に、袖ヶ浦市役所において議員会研修会が開催されました。

当日は、法政大学法学部教授、廣瀬克哉先生を講師に招き、「議会改革の課題と議会基本条例の意義」についての講演が行われました。

議会基本条例に関することや、議会改革の具体策等皆さんの関心も高く有意義な研修会となりました。

- ・主な質疑
 - ①議会改革の1つとして、議員定数の適正化の考え方
 - ②議会基本条例の成功事例
 - ③報酬及び政務調査費の自治体間のばらつき
 - ④日本における政治的討論の現状
 - ⑤市議会議員の役割



(仮称)そでがうらメモリアルパーク検討特別委員会 調査報告書提出

平成21年9月24日に、本市における今後の火葬場のあり方を検討するために設置された本委員会において、6月26日に調査報告が行われました。報告書の抜粋は下記のとおりです。
なお、この報告により所期の目的は達成したことから本委員会は解散されました。

委員会としての結論(まとめ)

当委員会は、本市の火葬場のあり方について、執行部と意見交換を行うとともに、議会が決議した南袖用地の撤回を求めた決議を再度検証しつつ、長期にわたり火葬場建設ができなかった理由や、火葬場建設を目的に取得した用地の、断念に対する市民への説明責任など様々な視点で、活発な議論を交わしてきた。また、委員それぞれにも多様な考えがあるなかで、市民が火葬場を必要としていること。また、本特別委員会においても市民と一致した考えの下に、これまで議論を重ねてきていること等を踏まえ、委員会として、本市の火葬場のあり方を、以下のとおりまとめたので、ここに報告するものである。

記

- (1) 市は火葬場予定地の選考において、今後も断念した南袖用地もひとつの候補地として視野に入れ検討をすすめること。
 - (2) 市は火葬場予定地の候補地として、南袖用地以外の適地を選考した場合には、速やかに議会へ報告し了承を得るとともに、南袖用地の火葬場建設に代わる有効な土地利用方を検討し、議会へ報告すること。
 - (3) 市は、(2)においては、南袖用地の火葬場建設に代わる有効な土地利用方の確定なしに、火葬場建設に係るいっさいの手続きに入るべきではないこと。
 - (4) 市は、火葬場建設にあたっては、議会と共にすすめること。
- (報告書より一部抜粋)

(仮称)そでがうらメモリアルパーク
検討特別委員
12名

委員長 榎本雅司
副委員長 阿津文男
委員 長谷川重義/篠崎龍夫/茂木芳和/片倉憲太郎/神崎 寛
吉岡淳一/塚本幸子/福原孝彦/篠崎典之/岡田 實

議会活動 の紹介

議会では、年4回の定例会開催以外に様々な活動を行っています。数ある活動の中から、今回は休会中に開催された文教福祉常任委員会と、環境保安対策特別委員会の活動をご紹介します。

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、5月18日(金)に委員会を開催し下記のとおり所管事務調査を実施しました。

【所管事務調査】袖ヶ浦市国民健康保険税率の改定について

- ・主な質疑 ①他市の繰り入れ金額
- ②法定外繰入金が増額による加入者の負担減の検討
- ③法定外繰入金の少ない市町村

環境保安対策特別委員会

環境保安対策特別委員会では、7月4日(水)に委員会を開催し下記のとおり所管事務調査を実施しました。

- 【所管事務調査】●株式会社かずさクリーンシステムの現地視察
- 太平興産株式会社大塚山処分場の現地視察



かずさクリーンシステム溶融飛灰の保管状況の確認

ポロシャツ議会開催

10月21日に開催される「ちばアクアラインマラソン」啓発活動の一環のため、6月定例会の初日である6月6日に、議員及び出口市長、市幹部職員41名が揃いのアクアラインマラソンポロシャツを着用し議会に臨みました。



ちばアクアラインマラソン

2012.10.21(日)
午前10:00スタート

スタート 潮浜公園前(木更津市)
フィニッシュ 木更津市役所



6 月 定 例 会 議 案 等 議 決 結 果 一 覧

議案番号	件名等	議決結果
議案第1号	袖ヶ浦市公共下水道事業区域外流入受益者分担金に関する条例の制定について (主な内容) 公共下水道の構造及び管理に影響を与えない範囲内で市街化調整区域からの区域外流入を認めるとともに、公共下水道事業に要する費用の一部に充てるため、区域外流入受益者分担金を徴収するにあたり、新たに条例を制定しようとするものです。	原案可決 (全員賛成)
議案第2号	袖ヶ浦市公共下水道事業特別会計市債管理基金条例を廃止する条例の制定について (主な内容) 公共下水道事業特別会計の市債残高が減少し元利償還金が減っていくことから、公共下水道事業特別会計市債管理基金の必要性がなくなるため、当該基金条例を廃止しようとするものです。	原案可決 (全員賛成)
議案第3号	袖ヶ浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (主な内容) 袖ヶ浦市国民健康保険特別会計の需要額を満たすため税率の改定を行うとともに地方税法が改正されたこと等に伴い、関係条文の整理を行うため、条例の一部を改正しようとするものです。	原案可決 (賛成多数) 原案に反対した議員 田中 輝博 長谷川 重義 励波 久子 吉岡 淳一 福原 孝彦 篠崎 典之
議案第4号	袖ヶ浦市印鑑条例等の一部を改正する条例の制定について (主な内容) 外国人登録法が廃止され、外国人住民を住民基本台帳法の適用対象に加えるための住民基本台帳法の一部を改正する法律等が施行されることに伴い、関係する条例の一部を改正しようとするものです。	原案可決 (賛成多数) 原案に反対した議員 励波 久子 篠崎 典之
議案第5号	袖ヶ浦市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について (主な内容) 予防接種健康被害調査委員会の委員が所属する法人の名称が変更されたこと、及び市が行う任意予防接種により発生した健康被害を当該委員会の調査の対象とするため、条例の一部を改正しようとするものです。	原案可決 (全員賛成)
議案第6号	財産の取得について (消防救急デジタル無線装置購入) (主な内容) 消防救急デジタル無線装置の購入にあたり、議会の議決を求めるものです。	原案可決 (全員賛成)
議案第7号	監査委員の選任について (主な内容) 識見を有する者のうちから選任された監査委員石井宏氏が平成24年7月9日をもって任期満了となるため、後任に柏谷秀夫氏を選任することについて、議会の同意を求めるものです。	原案同意 (賛成多数) 原案に反対した議員 田中 輝博 阿津 文男 立原 勇 福原 孝彦 議場から退席した議員 長谷川 重義
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について (主な内容) 人権擁護委員小倉正敬氏が平成24年9月30日をもって任期満了となるため、同氏を再推薦することについて、議会の意見を求めるものです。	原案同意 (全員賛成)
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について (主な内容) 人権擁護委員田代悦子氏が平成24年9月30日をもって任期満了となるため、同氏を再推薦することについて、議会の意見を求めるものです。	原案同意 (全員賛成)
諮問第3号	人権擁護委員の推薦について (主な内容) 人権擁護委員畠山和夫氏が平成24年9月30日をもって任期満了となるため、新たに稲垣昭彦氏を推薦することについて、議会の意見を求めるものです。	原案同意 (全員賛成)
報告第1号	市が出資又は債務を負担している法人の経営状況について (主な内容) 市が出資又は債務を負担している袖ヶ浦市土地開発公社の経営状況について報告するものです。	—

議案番号	件名等	議決結果
報告第2号	平成23年度袖ヶ浦市一般会計予算の継続費繰越計算書について (主な内容) 平成23年度袖ヶ浦市一般会計予算において設定した継続費繰越計算書について報告するものです。	—
報告第3号	平成23年度袖ヶ浦市一般会計予算の繰越明許費繰越計算書について (主な内容) 平成23年度袖ヶ浦市一般会計予算において設定した繰越明許費繰越計算書について報告するものです。	—
報告第4号	平成23年度袖ヶ浦市農業集落排水事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書について (主な内容) 平成23年度袖ヶ浦市農業集落排水事業特別会計予算において設定した繰越明許費繰越計算書について報告するものです。	—
報告第5号	平成23年度袖ヶ浦市公共下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書について (主な内容) 平成23年度袖ヶ浦市公共下水道事業特別会計予算において設定した繰越明許費繰越計算書について報告するものです。	—
報告第6号	専決処分報告について (主な内容) 水道料金債権(遅延損害金を含む)の放棄について専決処分したので報告するものです。	—
陳情第28号	国における平成25年(2013)年度教育予算拡充に関する意見書 採択に関する陳情書 (主な内容) 子ども達の健全育成をめざし、豊かな教育を実現させるため、教育に関する震災支援策を十分にはかることなど7項目について、国に対し意見書の提出を求めるものです。	採択 (全員賛成)
陳情第29号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」 採択に関する陳情書 (主な内容) 21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう、国に対し意見書の提出を求めるものです。	採択 (全員賛成)
陳情第30号	高谷地先における無許可埋め立て事業の今後の対応について(陳情) (主な内容) 袖ヶ浦市高谷地先における違法埋め立てについて、千葉県や袖ヶ浦市へ早期に解決するよう要望したので、要望実現に向け取り組むよう千葉県、袖ヶ浦市に対し意見書の提出を求めるものです。	採択 (全員賛成)
発議案第1号	袖ヶ浦市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について (主な内容) 社会経済情勢を鑑み、本市の実情に則した議員定数を24名から22名に改めたく、議会の議決を求めるものです。	原案否決 (賛成少数) 原案に賛成した議員 前田 美智江 篠崎 龍夫 茂木 芳和 神崎 寛 小野 光正 露崎 信夫 石井 俊夫
発議案第2号	国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書について (主な内容) 陳情第28号の願意に沿い、意見書を国に提出するものです。	原案可決 (全員賛成)
発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について (主な内容) 陳情第29号の願意に沿い、意見書を国に提出するものです。	原案可決 (全員賛成)
発議案第4号	高谷地先における無許可埋め立て事業に対する早期解決へ向けた意見書について (主な内容) 陳情第30号の願意に沿い、意見書を千葉県、袖ヶ浦市に提出するものです。	原案可決 (全員賛成)

我が国では憲法に国民の自由と権利が保障されて60年余り。市民は大地震を経験して「新しい公共」という言葉を意識させられました。地方自治を保持し、市民社会を形成していくには共通善や公的問題に対処する公共心が不可欠であります。市民の負託による議会のはつねに共通善を意識し、公共の立場で審議するべきと考えます。

一八三〇年代初頭に米国を訪問した思想家トクヴィルは、米国の民主主義が成功した理由について、人々が個々の殻から抜け出し、公的な組織を形成したことにありと指摘している。その結果、人々は「市民」となり、共通善や公的問題を学ぶようになったというのです。自由の新天地を求めてメイフラワー号が新大陸に渡ったのが一六二〇年。その後、英産業革命の始まりにより職を失った人々が移住し、米国は希望と野望に満ちた国を形成していきましました。この新大陸の開拓の過程で、米国民は自由と慈善を学んでいったといえます。トクヴィルが米国を視察したのはそれから100年が経過した後の事でした。

